

人の優しさとは何か、弱さとは何か、
そしてよき選択とは……。



Enoch イツケ・アール Euler

原作
アルフレッド・テニスン

作曲
リヒャルト・シュトラウス

翻訳
原田宗典

演出・振付
ウィル・タケット

出演
田代万里生
中嶋朋子

秋山瑛
生方隆之介
南江祐生
(東京バレエ団)

演奏
櫻澤弘子

企画製作 | tsp Inc.



2025年3月7日「金」—16日「日」

新国立劇場小劇場

夏目漱石が

「ここに人間がある。活きた人間がある。感覚のある情緒のある人間がある」

と評した不朽の名作を

リヒャルト・シュトラウスの楽曲とともに、俳優とダンサーによって響き語り紡ぎ、感情の畝りを創り出す

遙か海のむこうを目指し旅立った男イノック。ひたすら愛する人の帰りを待ち続けた妻アニー。そして友情と愛情の狭間で揺れ動き葛藤する男フィリップ。3人の男女が織りなす愛の物語。人を想い、行動すること。そして自分の人生への誇りと責任。人の優しさとは、強さとは弱さとは、そしてよき選択とは……。

出演— 田代万里生 中嶋朋子
 秋山瑛 生方隆之介 南江祐生
 (東京バレエ団)

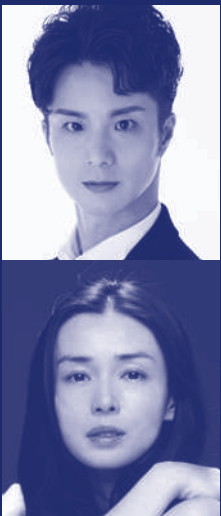
演奏— 櫻澤弘子

原作— アルフレッド・テニス
 作曲— リヒャルト・シュトラウス
 翻訳— 原田宗典
 演出・振付— ウイル・タケット
 音楽監修— アンディ・マッセイ

美術・映像— ニナ・ダン
 照明— 佐藤啓
 音響— 佐藤日出夫
 衣装— 柿野彩
 映像— 栗山聡之
 ヘアメイク— 山本絵里子
 美術補・舞台監督— 深瀬元喜
 協力— 公益財団法人日本舞台芸術振興会
 企画製作—
 株式会社トータルステージプロデュース



秋山瑛 生方隆之介 南江祐生



田代万里生 中嶋朋子

公演日程 2025年3月7日[金]—16日[日]

会場 新国立劇場小劇場 ※京王新線初台駅直結京王新線「初台駅」中央口直結 (都営新線乗入れ。京王線は止まりません)

一般発売 2025年1月18日[土]

入場料金 S席 11,500円 A席 9,500円 (全席指定税込)

U25チケット 6,600円 *観劇時25歳以下対象/要身分証/当日指定席券引換/ローソンチケットにて取扱い

3月	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
昼		14:00	13:00			14:00	14:00	14:00	13:00	13:00
夜	19:00	19:00		19:00	休演		19:00		18:00	

*開場は開演の30分前となります

チケット取扱い

ローソンチケット <https://l-tike.com/enoch/>
Lコード: 33502

チケットぴあ <https://w.pia.jp/t/enoch/>
Pコード: 530987

イープラス <https://eplus.jp/enoch/>

NBSチケットセンター 03-3791-8888
(平日10:00~16:00、土日祝休み)

NBS WEBチケット <https://www.nbs.or.jp/>
(要会員登録・無料)

チケットに関するお問合せ

ローソンチケット
0570-084-617 (11:00~16:30)

公演に関するお問い合わせ

tsp Inc.
contact@tspnet.co.jp
※上記お問合せの際、メールの件名に必ず「イノックアーデン」とご記入下さい。

公式HP

<https://tspnet.co.jp/enoch/>

※未就学児入場不可。※チケットはお一人様一枚必要です。※本公演のチケットは主催者の同意のない有償譲渡が禁止されています。※やむを得ない事情により出演者等が変更になる場合がございます。※車椅子でご来場のお客様はあらかじめチケットをご購入の上、公演日の3営業日前までに「チケットに関するお問い合わせ」窓口までご連絡ください。車椅子スペースには限りがございますので、ご購入済みのお座席でご観劇いただく場合もございます。お連れ様をご観劇される場合もチケットが必要となります。あらかじめご了承ください。※開場/開演時間は変更になる可能性があります。※公演中止の場合を除き、チケットの払い戻し、他公演へのお振替は致しません。

宣伝美術 | 守谷めぐみ

こはイギリスの海辺のとある村。船乗りの父親を亡くした孤児のイノック・アーデン、粉屋の息子のフィリップ・レイ、美しい少女のアニー・リーはどんな時も一緒だった。いつの頃から、イノックとフィリップはアニーに恋心を抱くようになっていた。思いをはっきり伝えるイノックと引込み思案のフィリップ、二人の恋の勝負はイノックが勝り、アニーと結婚。フィリップは計り知れない失恋の苦しみを胸に秘めるのであった。

イノックとアニーは子供にも恵まれ、慎ましくやかな平和な家庭を築いていた。ところが、ある日イノックは大病を負ってしまふ。長い療養を経て復帰したものの、なかなか仕事をやる事ができず、家計も苦しくなる一方。そこへ東方へ向かう商船の仕事が舞い込んだ。男としてひととはあがたい、妻と子供に裕福な生活を与えたいと船に乗り、彼は海にでるのであった。アニーはイノックの帰りを心待ちにしていたが、なかなか

イノックは帰ってこなかった。彼女を心配する幼馴染みのフィリップは彼女を慰め続けた。次第に子供たちもフィリップにつき、フィリップもアニーへの想いが再燃する。そしてイノックが海に出てから十年が過ぎた頃、二人は結婚する。フィリップとアニーの間にも新たな生命を授かり、幼かったイノックの子供達も、もはやイノックを父として記憶すらしていなかった。

イノックは乗船した船が難破し、無人島に流れ着き、一人で生きていた。ひたすらアニーを思い続け、その想いを糧に孤独の生活を送っていた。そうして、ようやく通りかかった船に助けられ、十数年ぶりに、生まれ故郷に帰って来たのである。故郷に戻ったイノックだったが、すでにアニーと子供たちはフィリップとともに新しい、そして幸せな家庭を築いている現実と直面するのであった。そしてイノックは……

イノック・アーデン